

■出席者 □欠席者 ▲途中退席者 △遅刻者

	総務部			環境部		レク部	
出席者	■ 鷹尾 会長	■ 佐藤(昇) 部長	■ 峯下 副部長	△ 國松 部長	■ 花澤 副部長	■ 菅 部長	■ 北濃 副部長
	■ 大畑 副会長						
	■ 宗政 書記						
	■ 菊池 会計						
■	□ 渡邊 監査役	企画部	□三枝委員(企画防犯防災) □佐々木(企画パト)		*ゲスト(ホラナイフグループ他)	(おザパ-)	□深谷 ■篠崎 □
10名 + 1名	班長会は、		2月 21日	19:00~	於： 第一自治会館		

配布資料：会議用に、3人に1セット配布

1. 運営委員会

- ・2025年度班長役員会員非会員世帯数一覧更新版
- ・「いけプロ」収支関連
- ・班長アンケート結果

① 運営委員会 開始18:30-20:45

*立替精算：会長

*防犯カメラ助成(小川さん分)申請パト、助成金受領書 → 菊池会計へ

【以下、運営委員会 連絡、協議、相談、意見交換】

① 連絡・協議事項 (配布資料に従い会長より説明、意見交換)

1)2025年度班長役員会員非会員世帯数一覧更新版

- ・入会情報 (LINE配信済) と最新会員数 : 355世帯に (2024年度末 354) → 関連班長には連絡済み
- ・2026年度班長 17班17名の班長選出済→6B-2と6B-3の統合するか、現状のままとするか? 検討中
 - *6B-2と6B-3統合すると、会員26、非会員51 (現状4B-4の会員24、非会員52規模に)
 - *班によって、会員数、非会員数の多い少ないのばらつきのある現状の問題解消は困難

2)「いけプロ」状況と収支現状

- ・NO.43、NO.32ステーションにいけいけネット、箱型をそれぞれ導入決定、使用開始で、導入数44箇所/47中
- ・集金状況、会計管理金額、会長手持ち現金、これまでの収入支出一覧など説明し、自治会の会計収支とは完全に分離独立管理の状況と、年度末監査の対象とすること説明 (内容は、配布資料参照)

3)班長アンケート集計結果 : 2018年度以降毎年度班長のアンケート回答集計結果との比較含めて概要説明

- (特徴) ・班長負担大変6、それほど大変ではなかった9 → 大変) 集金、ホスティング、班長会拘束
- ・おやっ! 広報継続16、やめよ1、非会員へのホスティング 継続7、やめよ5
- (改善するとすれば: 班長会拘束時間の短縮化、班によっての非会員数の平準化などかと)

4)デジタル化アンケート集計結果: 回答数161 (回答率 45.5%)

- ・スマホ使用率 149/161も、使っていない、使う気無しの方は当然ながら存在する
- ・スマホ教室など、自治会でやってほしい希望者もいる
- ・回覧を、スマホで、紙で、両方で受取りたい、と大きく別れた

想定通り、いきなりのスマホ一本化は現実的ではないことを確認する結果となった
 グループLINEを使っでのデジタル化だと誤解された回答が多い印象

(マワ)バス通りフラワーライン化に興味あり: 36名 → 個別に、協力参加ご相談連絡予定

5)2025年度会計収支現状見直し (支出内訳資料付き) + 軽トラ出勤活動記録 (規約の運用に規定の運用実施要領によるもの)

- ・収入状況 (会費微増) ほか、支出内容、残金見直し、予算オーバー項目理由、繰越金見直し、など説明
 - ・防災、総務、環境などは、残金/支出予定見て、2月末までに、予定する支出実行の具体化を申出願います
 - ・「専門委員」として予算化している報酬金の扱い確認: 5人、50,000円の予算取りの中から、従来通り、「火曜日君応援隊」に加え、デジタル化に協力いただいている役員以外の2名の方を対象に分配活用する。 → 異論無し
- ➡ 2026年度予算に、デジタル化、会館Wi-Fi設備など反映検討予定(夫々、5-6000円/月か?)

6)監査役業務

- ・規約細則に規定される各役員 (班長まで含め) のお役目の中で、「監査」に関し、「事業活動の執行状況および会計を監査し、結果を定期総会で報告する」とあり、これまで大きな疑問問題なくすすめて来ていました。
- ・全国の自治会でも「監査」のお役目、立場、守備範囲、どこまで、どんな監査をする、など明確にしていけないがために、必要以上に監査役の方の負担負担が大きくなったり、運営全体とのバランスで監査が孤立してしまう、などの一方、監査がお飾りになってしまっているなど問題がみられるとも聞きます。
- ・今回、規約での規定ではなく、規約の運用のレベルで、監査役のお役目を少し明確にすることで現状を少し整理するものとしたします。 → 総会での議案ではなく、運用報告のレベルで報告できればと考えます。(会長)

(相談事項: 参考) のぞみ野自治連合会の発足経緯から現状におけるの連合についての意識認識、要否のご意見ヒアリング

現在、連合理事会にて具申中の、自治連合会の存在意義の検証、「連合は要るのか?」との声にキチンと向き合う時期に来ているのではないかと、について、運営委員会メンバーの認識、意見をお伺いしてみた結果:

- ・連合/自治会誕生初期の環境の中では、連合主導のものも多かったが、現状ではその状況は変わっている
- ・連合が担当実施の一つ一つを自治会に振っても問題ないかの検証で判断すべし
- ・要否を問われても、連合が何をやっているかわからない、定期大会参加したが、自治会をまとめている印象はない